

# ～中高生対象放課後等デイサービスの療育活動～

横浜市栄区

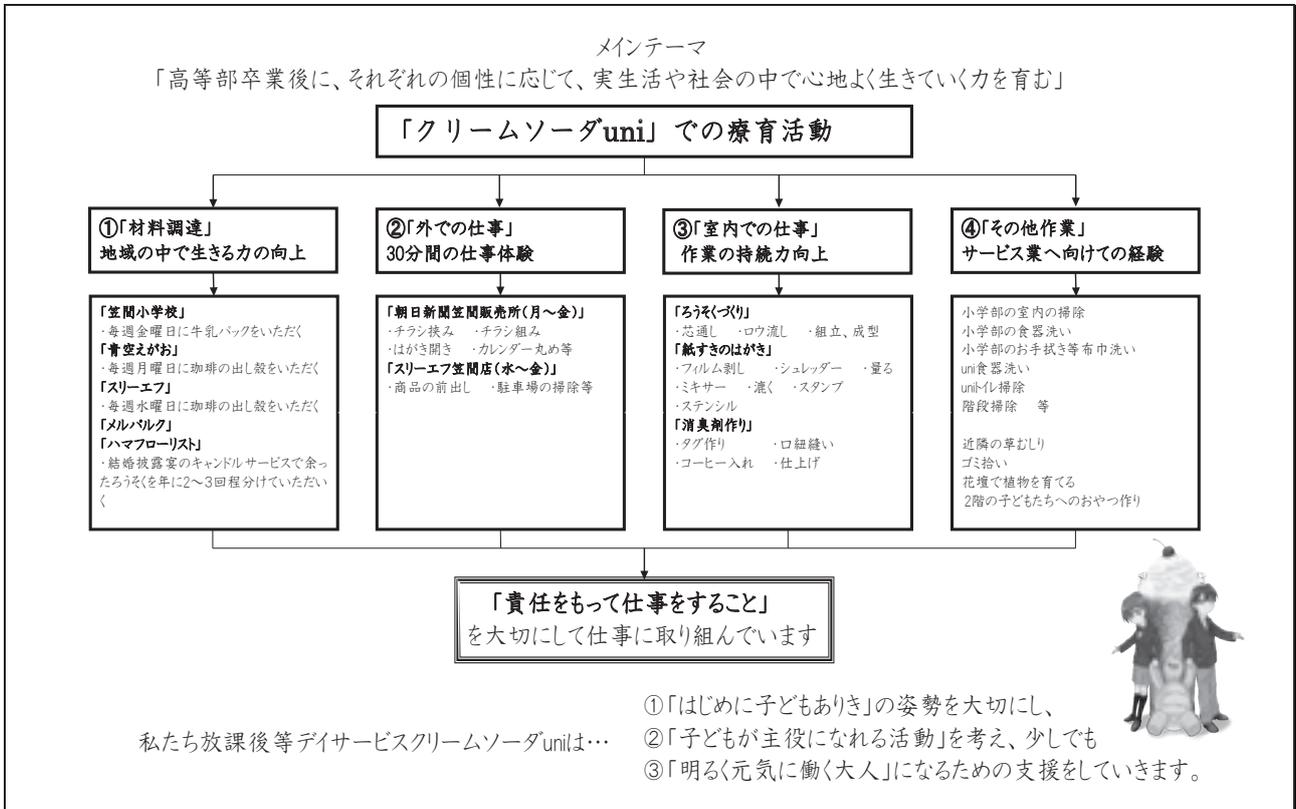
放課後等デイサービス クリームソーダ

児童発達支援管理責任者 渡邊久枝・管理者 渡邊 忠

## 1 はじめに

平成 26 年 11 月に立ち上げた「放課後等デイサービス クリームソーダ」では、小学部と中高部で単位分けをしています。小学部では「集団療育活動」と「個別課題」の二本柱を主軸とし、みんなと一緒に「楽しく」をテーマに「幅広い経験・体験」ができるように活動を組み立てています。当初、小中高同室で支援をしていましたが、小学生と一緒にの療育内容だけでは中高生にとって発達段階に応じた支援ができないことを日々の過ごしの中で実感し、平成 27 年 11 月に中高部「uni」を立ち上げました。uni では高等部卒業後に視点を当てた療育活動に取り組んでいます。この uni での療育活動について、紹介させていただきます。

## 2 事例や取組の紹介（表①）



「クリームソーダ uni」では、中高生の間にどのような経験・体験を積み、児童が高等部を卒業した後、それぞれの児童にとって豊かな生活を送ることが出来るだろうかということを念頭に置き療育活動を編み出しています。

クリームソーダに集まる児童たちは、小学部・uni 共に放課後の過ごし方の充実を求めて来所しています。そのため、日々の療育活動はいろいろな工夫をしています。その影響か、軽度の児童が多く集まっています。

uni では、途中から A 判定に変わる児童も多々在籍する関係で、特別支援学校に通う児童が増えますが、小学校時代は個別支援学級に在籍し、作業をする場を提供すると、作業力の高い児童が多いことが分かりました。そこで考え出したのが「作業を中心とした療育活動」です。求めるテーマは「高等部卒業後に、個性に応じて、実生活や社会の中で心地よく生きていく力を育む」と考え、就労へ向けて、クリームソーダのできる活動を組み立てることにしました。また地域との関係は切っても切り離せません。その部分も療育活動の中に盛り込みました。

上記の表①の中に活動内容を書き表しました。見ていただいた通りの内容を日々行っています。この4本柱を詳しく説明いたします。

### ① 材料調達

③の室内作業に関わる材料を近隣の方々に協力を求め分けていただき、児童が実際にいただきに伺います。ご協力いただいている場所は、クリームソーダよりほぼ徒歩5～10分圏内にあり、週に1回伺っています。近隣の小学校・喫茶店・コンビニで、いつも気持ちよく声を掛けてくださいます。特に小学校は卒業生もいるので行くことをとても楽しみにしている児童もいます。この活動の中で「返事」「挨拶」「コミュニケーション」の大切さを児童は実際に体験しながら学んでいます。

### ② 外での仕事

クリームソーダの児童が、一番楽しく且つ充実した時間を過ごしているのがこの「外での仕事」です。この笠間地域の方々は気持ちの温かい方が多く、2軒先にある「朝日新聞販売所」の方と材料調達でお世話になっている「スリーエフ」の方が協力して下さっています。

「朝日新聞販売所」は月曜日～金曜日まで毎日30分間の仕事の手伝い、「スリーエフ」は水曜日～金曜日まで3日間、30分間のお手伝いを児童がしています。

朝日新聞では、新聞のチラシ挟み・折り込み調整機、ブロワー等機械を使った仕事・ハガキ開き・スタンプ押し・ビニール、紙袋畳・年末にはカレンダー丸め等、いつも児童に分かりやすい仕事をご準備いただいています。個に応じた仕事力ですが、いつも「ありがとう」「たすかるよ」と声を掛けていただき、児童は大変気持ちよく手伝いをさせてもらっています。仕事の体験だけでなく、スタッフさんたちとのコミュニケーションが児童の楽しみのひとつで、言葉のやりとりを沢山経験しいつも笑顔で仕事の手伝いをしています。本当にいつも感謝しております。

スリーエフでは、品物の前出し作業と駐車場の掃除を中心に手伝い、児童の中には「アルバイト」と言っている人もいます。

充実した仕事体験を日々させていただき、連絡帳の中の「今日がんばったこと」の記載は、児童から「朝日新聞」「スリーエフ」といつも声が上がっています。

### ③ 室内での仕事

材料調達でもらった材料を使って、3つの作業を組み立てています。1つの作業30分でタイムテーブルを作り、みんなで協力し合って物を作りだしています。「紙漉きのはがき」「消臭剤・芳香剤」「プリン型のろうそく」の3つの作業です。工程別に手順表を作り、自立で30分作業を続け、準備～後片付けまで一人で行うことが出来るように支援しています。

出来上がったものは、地域のコンビニや喫茶店に置いてもらう、また地域のフリーマーケットに参加し、児童が直接地域の方へ配付する等し、地域の方々に利用していただくよう工夫をしています。時々お礼のお菓子やメールをいただき、こちらも温かい気持ちになります。

現在、レモンバームを児童と一緒に育て始め、葉を利用し芳香剤を作ったところ、気持ちが癒されると好評をいただきました。

#### ④ その他作業 ～サービス業へ向けての経験～

クリームソーダは、小学部が2階・uniが3階にあります。そのためuniの児童が小学部児童のためにお手伝いをするのも作業の一環として行っています。内容は「おやつ時使用の食器洗い・手拭き洗い」「小学部の室内清掃」「月に2回の小学部児童へのおやつ作り」「集団療育活動の手伝い」等を行っています。自分たちがいた小学部での仕事は、懐かしく思いながらもお兄さんお姉さんとしてしっかりと果たしています。特に食器洗い等は、きちんとした仕事を覚えていただくため、少しの拭き残し洗い残しも指摘し、役立つ仕事ができるように支援しています。このことを通して、家庭でのお手伝いが増えたり、できなかったことが出来るようになったり、児童は高い意識をもって取り組んでいます。この活動がいずれ将来の仕事の中で役立つことを願っています。また、自分たちの部屋・トイレもスタッフの支援の下、児童自身が清掃をしています。このことで就労できる幅が増えるであろうという考えのもとで、児童に体験してもらっています。

#### ⑤ その他

日々のお仕事活動を頑張っている児童のために、土曜日の活動は思いっきり楽しめるレジャー的な内容を提供しています。送迎車があるので、小田原・箱根・川崎・羽田・お台場等遠出を多く計画し、広い公園で友だちと思いっきり遊ぶ・工場見学をする・博物館、科学館へ行く等、児童は友だちと一緒に楽しい体験経験をすることを喜んでいきます。交通機関を使ったすごろくの旅は人気です。また、先の見通しを持つということで、特例子会社へ会社見学に行ったりもします。

### 3 考察

uniでこのような療育活動が続けることにより、中2の段階でIQの数値が上がった、特別支援学校在籍の高3生は職場実習で本来担任が付きっきりでないと作業への参加が難しいとされていたのに実際は二日目から自立での作業参加ができたというような報告を受けています。uniができて丸2年立とうとしている今日、児童みんなの少しずつの経験の積み重ねが、児童の力になっている様子を感じ始めてきているところです。

### 4 おわりに

クリームソーダでは3つのどの事業所でも共通して大切にしている考え方があります。「はじめに子どもありき」の姿勢を大切にし、「こどもが主役になれる活動」を考え、将来「明るく元気に働く大人」になるための支援を行っていく、これをモットーとしております。将来、子どもたちが生きやすく豊かな人生を送るために、今クリームソーダでできることを常に探っています。これからもこの地域の子どもたちのために、できることを貪欲に探っていきたいと思っています。